

## 安全データシート

改訂日:2022年11月7日

1. 化学品及び会社情報	
化学品の名称	酢酸カリウム
推奨用途	試験研究用
会社名	米山薬品工業株式会社
住所	大阪市中央区道修町2丁目3番11号
電話番号	(06)6231-3555(大阪・本社) (03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田) (052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)
整理番号	CA0028
2. 危険有害性の要約	
GHS分類	分類の基準に該当しない。
GHSラベル要素	
絵表示又はシンボル	なし
注意喚起語	なし
危険有害性情報	なし
GHS分類に該当しない他の有害性	強酸類と接触すると分解して酢酸を遊離する。弱い毒性あり。
GHS分類に該当しない環境有害性	河川や公共溝渠等に流出すると、水中のCOD/BOD値は高くなる。
3. 組成、成分情報	
化学物質・混合物の区別	化学物質
化学名	酢酸カリウム
別名	—
化学式	CH <sub>3</sub> COOK
化学物質を特定できる一般的な番号	CAS RN: 127-08-2
成分及び含有量	酢酸カリウム 100%
官報公示整理番号(化審法/安衛法)	(2)-692/公表
その他	HSコード: 2915.29
4. 応急措置	
吸入した場合	鼻孔を多量の水で洗い、うがいをする。必要なら医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	汚れた衣類や靴等を脱ぎ、製品に触れた部分を水で洗い流した後、十分に洗浄する。
眼に入った場合	速やかに清浄な水で最低15分間の洗浄を行い、医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	速やかに医師の手当てをうける。
5. 火災時の措置	
適切な消火剤	当該物質は不燃性である。 水噴霧、泡消火薬剤、粉末消火薬剤、二酸化炭素
使ってはならない消火剤	該当情報なし。
特有の危険有害性	該当情報なし。
特有の消火方法	該当情報なし。
消火を行う者の保護	消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業の際は適切な保護具を着用し、風上から作業する。風下の人を退避させる。
環境に対する注意事項	河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	粉じんが飛散しない方法で回収する。 水で十分洗浄する。
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策(局所排気、全体換気等)	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
安全取扱い注意事項	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。 眼、皮膚及び衣類に触れないよう、適切な保護用具を着用する。
接触回避	『10. 安定性及び反応性』を参照。
衛生対策	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。 取扱い後はよく手を洗う。
保管	
安全な保管条件	換気の良い冷所に、直射日光を避けて保管する。 施錠して保管する。
安全な容器包装材料	ポリプロピレン
8. 暴露防止及び保護措置	
許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)	
管理濃度	未設定
日本産衛学会	未設定
ACGIH	未設定
設備対策	取扱いについては、できるだけ密閉化を行うか、局所排気装置を使用す
保護具	
呼吸用保護具	適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具	適切な保護手袋を着用すること。
眼の保護具	適切な眼の保護具を着用すること。

皮膚及び身体の保護具		適切な保護衣、顔面用の保護具を着用すること。
9. 物理的及び化学的性質		
物理状態		結晶又は結晶性粉末
色		白色
臭い		該当情報なし。
融点/凝固点		292°C
沸点又は初留点及び沸点範囲		該当情報なし。
燃焼性		該当情報なし。
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界		該当情報なし。
引火点		不燃性
自然発火温度		不燃性
分解温度		該当情報なし。
pH		7.5~8.5(20°C, 50g/L)
動粘性率(粘度)		該当情報なし。
溶解度		2560g/L(20°C)
n-オクタノール/水分配係数		該当情報なし。
蒸気圧		該当情報なし。
密度及び/又は相対密度		1.57g/cm <sup>3</sup> (25°C)
相対ガス密度		該当情報なし。
蒸発速度		該当情報なし。
10. 安定性及び反応性		
反応性、化学的安定性		常温では安定である。
危険有害反応可能性		常温では安定である。
避けるべき条件		高温多湿を避ける。
混触危険物質		強酸化剤
危険有害な分解生成物		酢酸ガス
11. 有害性情報		
急性毒性	経口	ラット LD <sub>50</sub> 3250mg/kg
皮膚腐食性及び皮膚刺激性		該当情報なし。(分類できない)
眼に対する重篤な損傷性又は刺激性		該当情報なし。(分類できない)
呼吸器感作性又は皮膚感作性		該当情報なし。(分類できない)
生殖細胞変異原性		該当情報なし。(分類できない)
発がん性		該当情報なし。(分類できない)
生殖毒性		該当情報なし。(分類できない)
特定標的臓器毒性(単回ばく露)		該当情報なし。(分類できない)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)		該当情報なし。(分類できない)
誤えん有害性		該当情報なし。(分類できない)
12. 環境影響情報		
生態毒性	短期: (急性)	該当情報なし。
	長期: (慢性)	良分解性。
残留性・分解性		該当情報なし。
生体蓄積性		該当情報なし。
土壌中の移動性		該当情報なし。
オゾン層への有害性		当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。(GHS分類:分類できない)
13. 廃棄上の注意		
化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報		産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。
14. 輸送上の注意		
国連番号		—
品名(国連輸送名)		—
国連分類		—
容器等級		—
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策		運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実にを行う。
国内規制がある場合の規制情報		
陸上輸送		消防法の規定に従う。
海上輸送		船舶安全法の規定に従う。
航空輸送		航空法の規定に従う。
応急措置指針番号		—
15. 適用法令		
化学物質管理促進法(PRTR法)		指定化学物質に該当しない。
毒物及び劇物取締法		毒物及び劇物に該当しない。
労働安全衛生法		名称等を表示し、又は通知すべき有害物[施行令別表9]に該当しない。
消防法		危険物に該当しない。
16. その他の情報		
参考文献		GESTIS(Databases on hazardous substances)

NITE-CHRIP(製品評価技術基盤機構HP)  
16615の化学商品(化学工業日報社)

記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。